

プロフィール

1959年3月宇ノ気町生まれ、62歳／金沢市八日市在住、家族は夫・子ども3人／県立金沢泉丘高校・金沢大学教育学部卒業／算数教室「数学で育ちあう会」を自宅で経営／国連NGO認証団体の新日本婦人の会石川県本部長

私は新日本婦人の会の仲間とともに36年間、「子どもの医療費窓口無料化を」と県や金沢市に要望を続けてきました。

コロナ禍の中、女性や子ども、高齢者の方、自営業者の方など弱い立場の方、毎日一生懸命生きている方々がむくわれ、希望を持って生きていける新しい県政をつくりたい。



いいもりひろこ

飯森 博子
無所属

日本共産党推薦

ホームページ



YouTube



くらし応援後回し・大型開発優先を転換

4つの
チェンジで

いのちとくらしを守ります!

1

新型コロナからいのちを守る

- 「だれでも いつでも、無料で」PCR検査が受けられるように
- 保健所を抜本的に強化
- 医療機関の減収補てん、すべてのケア労働者（医療・介護・保育等）の抜本的な処遇改善を国へ要望

2

ジェンダー・環境 先進県に

男女別の賃金格差是正計画の策定・公表などを県内企業に要請。パートナーシップ条例を制定。志賀原発は廃炉。住宅・公共施設用の太陽光発電設置優遇策、省エネルギーへ住宅・工場リフォーム推進策などを具体化し、新たな仕事と雇用を創出、中小企業を支援。

公共事業 大型開発から生活密着型に

大型開発優先・大企業誘致だのみから、生活関連道路・橋梁の維持や補修、保育所・特養ホーム・学校施設の耐震補強など地域密着型公共事業に切り替え、経済波及効果を地域に循環させます。

家族農業を支援、農林漁業で住み続けられる能登に

減らない年金、学費半減など、国に社会保障の充実・学生支援を求めます。

3

こどもの医療費拡充・自己負担ゼロに

県の助成対象年齢を中学卒業まで拡大すれば（約11億円の財源）、その分市町は学校給食無償化などの財源に回せます。

少人数学級を小中全学年で

鳥取県では22年度から順次、公立小学校全学年で30人学級実現、石川でも。

4

核兵器禁止条約への参加を国に求めます

小松基地におけるF35戦闘機配備、日米共同訓練中止を国に要望します。

今までの
県政
が
問題

●国いいなりで社会保障削減

現職7期で保健所・支所半分以下



●大型開発で借金3倍に

県民1人あたりの借金



●ジェンダー・環境後進県

●男女別所定内賃金格差

全国平均 **74.4** 石川県 **73.2**

※男性を100とした場合の女性給与、「いしかわ男女共同参画プラン2021」

●2050年二酸化炭素排出実質ゼロ 表明していない7県のひとつ

●農家数は半分に激減

総農家数 ※農林水産省「農業センサス」



●子どもには冷たく

県の子ども医療費助成対象は
全国最低クラス・20年間変わらず

県独自の少人数学級は
10年間前進せず